

WHO ファクトシート

衛生設備

Sanitation

2017 年 7 月

重要な事実

- ・2015 年には、世界人口の 39% (29 億人) が、安全で管理された衛生設備サービス (排泄物処理や安全処分を確実にする適切なシステムを伴うもので、他の世帯と共有でない便器や便所の利用、と定義) を利用している
- ・世界人口の 27% (19 億人) が、排水が処理される下水道につながった私有の衛生施設を利用している。
- ・世界人口の 13% (9 億人) が、排泄物がある場所で処理される便器や便所を利用している。
- ・世界の人口の 68% (50 億人) が、少なくとも基礎的な衛生設備サービスを利用している。
- ・23 億人は、未だに便器や便所のような基礎的な衛生施設を使用することができない。
- ・これらのうち、8 億 9200 万人は、未だに、側溝や茂みのかげ、あるいは池や川などの水の中へといたった屋外で排便している。
- ・世界の人口の少なくとも 10% は、排水を灌漑に用いた食物を消費していると考えられている。
- ・衛生設備の粗末さは、コレラ、下痢症、赤痢、A 型肝炎、腸チフスやポリオなどの疾病感染に関連している
- ・不適切な衛生設備は、毎年 28 万人の下痢性疾患による死亡を引き起こしていると推計され、また腸内寄生虫、住血吸虫症やトラコーマなどの顧みられない熱帯病の主要な要因である。粗末な衛生設備は栄養失調にも影響を与えている。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Sanitation ファクトシート原文は [こちら](#)